

「総合フェスティバル」 「分野別フェスティバル」 開催報告



けんみんミュージカル「尾道ラーメン物語」

けんみん文化祭ひろしま'06は、昨年の9月30日(土)から12月10日(日)まで県内8市1町の10会場で開催しました。「総合フェスティバル」「分野別フェスティバル」とも、多くの県民の皆様にご参加いただき、盛況の内に終了しました。

今回は、それぞれの開催状況と、「分野別フェスティバル」で見事、優秀な成績を残された団体、来場者の声などを紹介します。

開催状況

総合フェスティバル

「開会式・総合フェスティバル」では、事前に鑑賞券の申込を募ったところ、定員を超える多くの申込をいただきました。

当日は開場前から長蛇の列ができ、来場者のステージに寄せる期待が存分に感じられました。

今回は「ふるさと最高!輝くひろしま」と題し、開催地尾道市のほか、備後地方で古くから受け継がれてきた多彩な文化や産業の紹介を通して、新たなふるさとの魅力を発見していただける内容とし、郷土色溢れるステージを繰り広げました。

オープニングは民謡「音戸の舟唄」を披露し、続いて中学生がその「音戸の舟唄」をダンスミュージックにアレンジしてはつらつと演じ、華やかな幕開けとなりました。

ひろしまから発信する21世紀の文化

けんみん文化祭

だより

VOL.15

2007.2

●編集・発行●
けんみん文化祭ひろしま実行委員会事務局
〒730-8511 広島市中区基町10番52号
TEL (082) 222-3774 FAX (082) 222-7133
(月～金 8:30～17:15 ※土日祝祭日除く)
<http://www.hiroshima-kenbunsai.jp>

分野別フェスティバル

今年度も異なる2つの分野を合同開催するなどし、県内7市1町で9事業を開催しました。

全県公募制の4分野には、どの分野にも新しい顔ぶれが揃い、幅広い年齢層の皆様のご出演により、大会は大いに盛り上がりしました。



尾道灯りまつり

第1部「ふるさとの輝き」では、県内の小・中・高校生が中心となって演じたミュージカル「尾道ラーメン物語」を上演しました。このミュージカルは、脚本や曲をオリジナルにこだわった作品。出演者がひとつになり創り上げた舞台は、終始観客を魅了しました。

続く第2部「ふるさとの宝物」では、尾道賛歌「やさしい街」の合唱や、伝統芸能である獅子舞の共演、また尾道帆布、備後餅、松永のゲタを使用した個性豊かなファッションショーといった盛りだくさんの内容でお楽しみいただきました。

最後は、広島県と愛媛県の太鼓団体による力強い和太鼓演奏でフィナーレを飾りました。

また、総合フェスティバル終了後の会場周辺では尾道灯りまつりが行われ、ほのかに灯るローソクアートが幻想的な雰囲気を出していました。

その他の分野でも、地元で活動する団体による合唱や伝統芸能といったアトラクションが披露され、注目を集めていました。



文芸祭合同大会

文芸祭

昨年度と同様、短歌・俳句・現代詩・川柳の4分野を合同大会とし、上位入賞者の表彰と講評を行いました。今年度は7,000点を超える応募作品が寄せられ、皆さんの文芸に対する熱意が改めて感じられる大会となりました。



ミュージックフェスティバル

「ブンカッキープレゼントキャンペーン」へのご応募、ありがとうございました



今回は前を上回る、全部で170通を超えるご応募をいただきました。たくさんのご応募、ありがとうございました。当選された皆様からは続々と喜びのお便りが届きましたので、裏面で紹介させていただきます。おめでとうございます。

また、惜しくも当選されなかった皆さん。来年度も引き続きキャンペーンを行う予定ですので、どうぞ楽しみに!

そこで、事務局よりお願いです。今回いただいたご応募の中には、残念ながら応募要項を満たさず無効となったものがありました。プログラムや前号のけんみん文化祭だより等でご案内しているとおおり、ご応募はお1人様1口限りとなっています。また同一分野の応募券を複数貼付してのご応募も無効になりますので、お気をつけください。来年度はお間違えのないようご注意ください、どうぞご応募ください。よろしく申し上げます。

